

## 環境フォーラム湖東 活動報告

### 第11回えこサロン

「とまと屋さんの夜の寺子屋」学びたい人集まれ～

話題提供者 辻岡 逸人さん  
2012年11月9日金曜日  
ギャラリー&カフェ「寺子屋」

今回の話題提供者は、彦根のおいしいトマト屋さん「辻岡とまと」で有名な岡逸人さんでした。以前から辻岡さんのトマトの大ファンで見かければ買ってしまいますが、市場に出回るのはあまりなく私にとっては幻のトマトでした。そのトマトの生産者であり、寺子屋で中学生対象の塾をされているということでどんな話が飛び出すか楽しみに参加しました。

いきなり新聞記事が配られて、「この記事が一番言いたいことはなんでしょう」と質問されました。寺子屋の授業が始まりです。「この記事を見てあなたの考えを述べなさい」と言われ、いい年の大人が考え込んでしまいました。何とかひねり出した答えを聞いた辻岡さんは、「自分で考えて話すことが大切なんです。そのことを子ども達に教えたいんです。」と話され、寺子屋の子ども達は幸せだなと感じました。すっかり辻岡ワールドに入り込んだ私たちは、時を忘れるほどでした。最後に「おいしいトマトを作るには」の質問に、「トマトの声を聴くことです」の返事、その言葉の奥の深さを感じました。

### 湖東地域環境シンポジウム講演記録

「カタツムリの分布から見えてくる湖東地域の環境」  
滋賀県琵琶湖博物館学芸員  
金尾滋史さん

実際にカタツムリを調べたら、みんなが普段見ているカタツムリでも少しずつ違うんですね。カタツムリの種類によってもそれぞれ、住みやすい場所と住みにくい場所、言い換えれば好きな住む場所があるわけです。それだったら、湖東地域にどんなカタツムリがどれくらいいるのかを調べると、僕たちの住んでいるこの地域の環境がどういう環境なのか分かるんじゃないか、カタツムリが好きな環境をカタツムリから教えてもらおうというのが、今回の調査でした。

今回の調査では、32種類ものカタツムリを見つけていただきました。これは、皆さんが報告していただいたものに加えて、金剛輪寺、大滝神社と龍潭寺での観察会で見つかった種類や、私が個人的に見つけた種も含めての数ですが、皆さんが調査票を片手に1種類、2種類と見つけていただいたカタツムリが報告をまとめると32種類にもなったわけです。このようなタイプの調査としては、かなり多いと思います。その中には、「こんなものが見つかったの。」と正直驚いたものも何個もありました。報告の中で一番多かったのがクチペニマイマイという種類で、口の周りが口紅のように赤くなっていて、殻を見ると前の年の成長が赤い色で分かります。これは殻に特徴があることもあり、写真とともに皆さんからは「これ、クチペニマイマイですか。」と報告いただきましたが、全部正解していました。皆さんが調査票を活用して、ちゃんとカタツムリを見ていただき、名前もあっていたんですね。クチペニマイマイは木登りが大好きな種類で、草原などの平野部ではなく、木が生えている森や林に多く住んでいます。このクチペニマイマイの報告件数は15件で、湖東地域以外からも見つけたと報告をいただき、これを合わせるともって数が増えますが、最も報告件数が多い種類でした。次に、多かったのがウスカワマイマイというカタツムリです。殻が薄いのではウスカワマイマイと言いますが、これも結構いるんな場所から報告をいただきました。これは畑や田んぼの畔、草原、川の土手の草むらなどにいるカタツムリです。他にはナミマイマイも報告されました。これも山間部から平野部の木や石垣がある場所を好み、結構広めに分布している種類です。他には、キセルガイなどの細長い種類のカタツムリですね。これはとてもカタツムリとは思えない細長い形をしており、殻が昔のキセルによく似た形をしていることからキセルガイと名付けられていますが、この調査で初めて見つけて、「今までこんなカタツムリがいるとは思っていませんでした。」とびっくりしたという方もおられました。こういうナミギセルガイというのが、じっと見ていると意外にいるんですね。また、観察会で「ナメクジもカタツムリの仲間です。」という話をしたところ、ナメクジの情報をいっぱいくださった方もいます。ナメクジで多かったのは、チャコワラナメクジで、これは家の壁、畑の畔にいて、畑が被害に遭ったなど身近で多く見る方もおられると思います。実はこれは明治以後に入って来た外来のナメクジで、普通のナメクジとは違い、甲羅の名残としての甲良模様が少ないですが、いろんな場所で見つかり、結構広い場所に分布していることがわかりました。

この調査で分かったことは、皆さんの報告いただいた件数から、ここにもいたか、やっぱりここにもいたかという広く分布している種類についてです。発見された数が多い種類というのは、それだけ広く分布し、住める環境が広いということが分かりますし、逆に1件しかないものは、それが貴重な記録になることもあります。全国的にもカタツムリの分



布など十分に分かっていないことも多いので、学術的にも貴重な記録になったのではないかと考えています。

また、草原、平野、林や森など好きな生息環境が分かっている種類もいますので、見つけたカタツムリの種類の組み合わせから、その場所がどんな環境なのかというのがある程度分かってくることもあります。例えば、「家の近くで見つけました。」と、ニッポンマイマイ、コベソマイマイ、クチペニマイマイの3種類を報告してくれた方がいました。このメールを見たときに、その方に「家の裏に山があって、その手前が草が茂った土手がありませんか。」と聞いたら、「何で分かったのですか。」と驚かれました。なぜ分かったのかと言うと、ニッポンマイマイは山の奥や人里の手前にはいませんが、林と草むらの間の境界線くらいが好きな種類です。そしてコベソマイマイは、どちらかという山間部の林の中ではなく山間部にある草原帯が好きらしく、クチペニマイマイは木登りが好きで、林などの木が多くある場所を好みます。これらを組み合わせると、多分、「裏に山があって、その周りは草むらがある場所だろう。」と分かってくるのです。このように見つけたカタツムリの種類を組み合わせることで、その地域はどのような環境かが見えてくるわけです。単に森や草原、高原、公園だけがあれば良いのではなく、それぞれがつながって存在することで、それぞれの生育環境が好きなカタツムリが互いに行き来できたり、その中間、両方の場所が好きなカタツムリが生き残れるわけです。だから全体として、いろいろな環境が繋がっていることが、大事だと思います。

今回の湖東地域での調査により見つかった32種類のカタツムリからは、滋賀県の中でもこの地域には、カタツムリにとって大切な生息環境がとても多く残されていることが分かったと思います。これに合わせて、私自身が数十年この地域を歩いているんなカタツムリを探している経験も加えても、やっぱり湖東地方はカタツムリにとっては住みやすい場所で、学術的にも貴重な場所であるということが言えるかと考えています。今後、皆さんから教えていただいたカタツムリの情報は、いろいろな場所で役立てていきたいと思っています。また、今回のような場所をつかって、カタツムリから見た私たちの周りの環境を皆さんに広く伝えていきたいですし、皆さんからも周囲の方に伝えていってもらえると、今回の調査がより活きたものになると思っています。

### 環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています

すでに環境に関する活動をされている方や、ちょっと環境の勉強をしてみたいという方、企業・市民団体のみならず、どなたでも参加していただけます。まずはお気軽に、左記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。

## 環境フォーラム湖東情報交流誌



# エコトピア

第21号

### 湖東地域環境シンポジウム開催

平成24年12月8日(土)、ピバシティ彦根で「湖東地域環境シンポジウム」を開催しました。このシンポジウムは、地域の環境に関心を持っていただくため、フォーラムが毎年度開催しているもので、昨年度に引き続き湖東定住自立圏環境事業として実施しました。

最初にフォーラムの仁連代表から、「私たちは、科学技術の発展により、いつの間にか自然から遠ざかり、自然の恩恵に鈍感になっているのではないかと。自然を見る、自然を感じるこの出発点にしたいと、このフォーラムでは活動を続けてきた。特に次代を担う子どもたちには、自然を観察する力を磨いていって欲しい。」との挨拶があり、開会しました。

午前中は、日本よし笛の会によるミニコンサートに続き、「緑のカーテンコンテスト」の表彰、「湖東地域のカタツムリ調査」の表彰、滋賀県立琵琶湖博物館学芸員の金尾滋史さんによる講演(詳細は4ページ)を行いました。

午後には、エコグッズづくり体験コーナーとして、よし笛づくり、エコキャンドルづくり、恐竜のペイントを行い、多くの親子連れの方に来場いただきました。

1階センターモールでは、シンポジウムの当日を含む12月4日から10日まで、湖東の環境活動パネル展を開催しました。ここでは、湖東地域の活動団体によるPRのほか、「湖東地域のカタツムリ調査」の報告、「緑のカーテンコンテスト」の入賞作品、マザーレイク21計画などをパネルや写真で紹介し、買い物に来た多くの方にご覧いただきました。

### 受賞者コメント

高尾 健翔さん

ぼくは、カタツムリとナメクジがおなじくらい好きです。かんさつかいでは、たくさんのかたツムリやナメクジを見ることができました。びわこはくぶつかんのかなおせんせいの話しがとてもたのしかったです。ぼくは、学校でもナミギセルを見ることができました。すごうれしかったです。こんどは、オオケマイマイを見つけてみたいです。しょうじょうをもらってびっくりしたけどすごうれしかったです。

西川 綾奈さん(甲良西小学校4年)

「見つけて良かったカタツムリ」私は、友だちと遊んだときに、家の前の松の木にカタツムリがいました。カタツムリのパンフレットに「載っているかな」と思って見たら、ナミマイマイと書いてあったのでびっくりしました。カタツムリ調査に応募してちょっと経ってから、表彰式があることを先生から聞いたのでとてもびっくりしました。お母さんにそう言うと、「良かったな」と褒めてくれました。表彰式に行くのとたくさんの人がいすに座っていました。私たちの名前が呼ばれたとき、びっくりしました。賞状と参加賞をもらいました。とても嬉しかったです。また色々な行事に参加したいなと思いました。

阪東 侑奈さん(甲良西小学校4年)

「カタツムリ調査の表彰式」

## 湖東の生き物の仲間



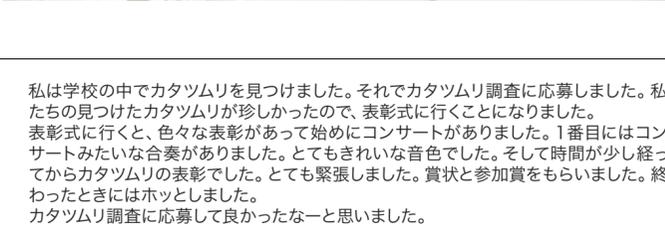
### シヨウジョウバカマ(ユリ科)

生育地の幅が広く低地から亜高山まで見ることができなが、近隣ではやや湿り気のある低地が多い。春一番の花で殺風景だった野山にポツと赤色を見つけると春の深まりを更に感じる。花の色を雛飾りの狸々さんがお酒を召された赤い顔に、ロゼット状の下葉を八カマに見立てた和名である。



### カンムリカイツブリ(カイツブリ科)

カイツブリの仲間では最も大型の種類で、琵琶湖にロシアや中国北部から冬鳥として渡ってくる。頭に小さい冠をかぶっている。カイツブリよりかなり大きく(約2倍)首も長くて白い。彦根旧港湾内でバス釣りの釣り糸を避けて潜水している姿はいじらしい。主に魚を好んで食べる、雑食性。



湖東の生き物調査 ～外来生物(カタツムリ)調査結果

種名	報告数
ウスカワマイマイ	13
クチベニマイマイ	14
ツルガマイマイ	1
オトメマイマイ	5
ナミマイマイ	5
コハクガイ	2
コシタカコベソマイマイ	1
ナタネキバサナギガイ	1
チャコウラナメクジ	5
ニッポンマイマイ	3
イブキクロイワマイマイ	1
オオケマイマイ	3
ヤマキサゴ	0
キセルガイモドキ	0
ウスベニギセル	1
コベソマイマイ	4
ナメクジ	3
ナミギセル	5
ヒメコハクガイ	1
オカチョウジガイ	1
ナミコギセル	2
ゴマガイ	1
ヒメベッコウsp	1
ヤマナメクジ	3
イセノナミマイマイ	2
マルシタラガイ	2
カサキビsp	1
ウラジロベッコウ	1
ナミヒメベッコウ	1
ミジンヤマタニシ	1
タワラガイ	1
カタマメマイマイ	1

○最優秀賞  
高尾 健翔さん

情報を頂いた調査回数はなんと11回、そしてその中で、見つけた種類は8種類になります。また今回の調査をきっかけにいろいろと飼育もされて観察した結果も送ってくれました。市街地の中でも、いろいろな場所にカタツムリがすんでいることを示してくれた調査でした。



○優秀賞

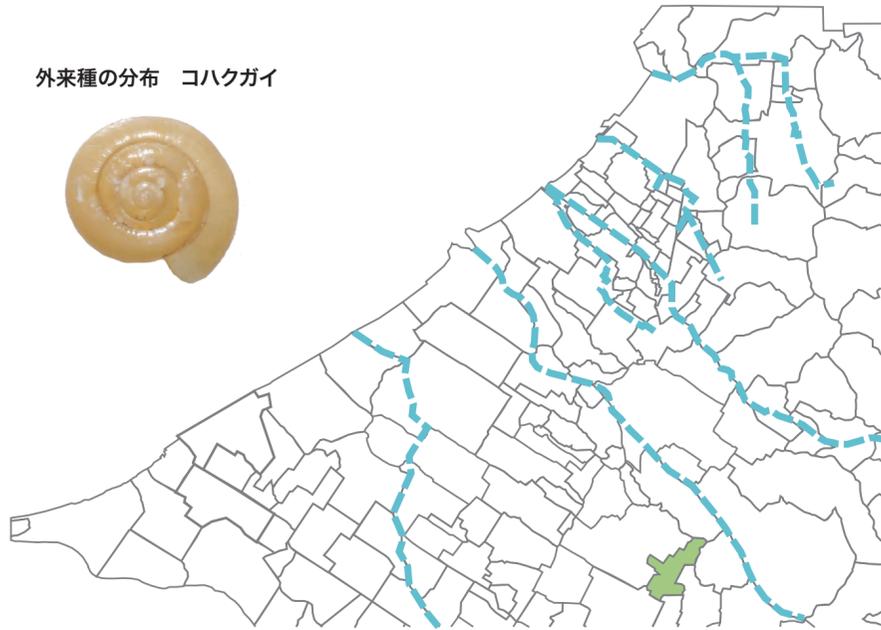
甲良西小学校4年生のみなさん  
クラスでこの調査に取り組んでくれました。結果を見ると、なんとなかなか発見できない小さな微小貝(コハクガイ)まで発見してくれました。みんなの力を合わせて学校にどんなカタツムリがいるのかを調べた結果だと思います。

青木 梨々華さん  
青木 瑠々奈さん  
青木 うららさん  
姉妹で調査票を提出してくれました。飼育しているカタツムリは卵を産んで、孵化をしているとのこと。いろいろと観察してわかったことも多いのではないかと思います。

清水 俊平さん  
清水 菜々子さん  
清水 瑛太さん  
兄弟でカタツムリを探してくれました。身近なカタツムリの形や色に気づき、よく観察された結果でした。

中川 信子さん  
最初に報告してくださったんですが、なんとそれが湖東地方ではほとんど記録のない「コシタカコベソマイマイ」でした。おそらく、この観察記録は本種の南限記録になる貴重な情報ではないかと思います。

外来種の分布 コハクガイ



外来種の分布 チャコウラナメクジ



主催 環境フォーラム湖東 協力 滋賀県立琵琶湖博物館

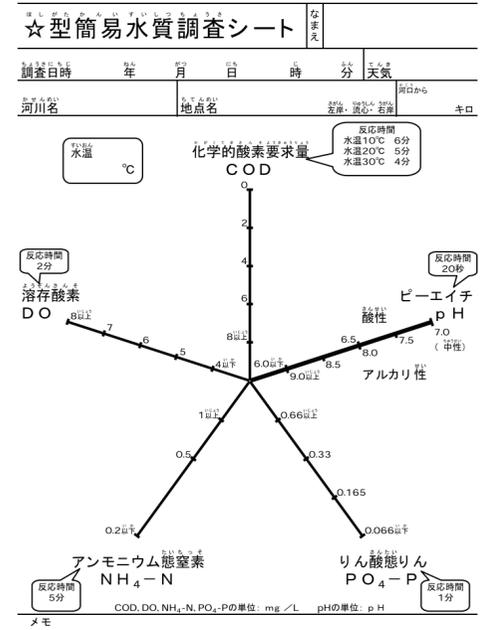
第4回湖東の水環境調査

環境フォーラム湖東では「身近な水環境の全国一斉調査」に参加していますが、それにあわせて特定の地点を定め「湖東の水環境調査」を実施しています。

調査項目は「身近な水環境の全国一斉調査」で気温、水温、CODパケットを実施し、「湖東の水環境調査」ではそれに加えてPH、パケットによるりん酸、アンモニウムそして残存酸素を測定しています。そしてその結果を国土交通省近畿技術事務所で考案の「☆型簡易水質調査シート」を用いて評価しています。このシートは調査結果が☆型に示され、大きい☆ならきれいな水で、小さい☆やいびつな形の☆なら汚れた水であることが分かるというものです。

基準日 2012年6月3日(日)  
調査地点 「身近な水環境の全国一斉調査」 185地点  
「湖東の水環境調査」 22地点

- 宇曾川  
CODは上流では低いものの肥田町では高くなり、河口ではさらに高くなっています。なおNH4、PO4は低レベルにあります。CODについて他の測定結果から、宇曾川以南の河川水路では高い傾向があります。
- 犬上川  
今回富之尾(金屋)でCODが高く測定されていますが、過去の結果や下流のデータから一時的なものと思われます。
- 平田川  
この川は投棄物が多く見られますが、水質の数値上は良好と判定されます。
- 芹川  
上流のきれいな水がそのまま下流に流れ下っています。
- 猿ヶ瀬川・港湾  
彦根市街地の中心部や外町から地蔵町にかけての下水道未施工区域の排水が流れ込んで汚れた川といえます。下流域で浄化センターの処理水を受け入れていてそのために水温が高いためかブルーギルなどの集まりやすい場所になっています。
- 矢倉川  
本流の上流ではうつくしく COD、NH4のやや高い小野川が流れ込み、河口においてCODが高レベルでNH4、PO4は低レベルの状態にあります。
- 柳川漁港・宇曾川漁港  
CODは宇曾川漁港で悪く、柳川漁港でびわ湖にくらべやや高い状態にあります。
- 内湖  
CODはいずれも高い状態にありました。神上沼において外来植物のナガエツノゲイトウが岸边で散見されました。



▲☆型簡易水質調査シート(改訂版)  
環境フォーラム湖東・近畿技術事務所協働で改訂

▼第4回湖東の水環境調査 調査結果

